

平成 22 年 1 月 13 日

松山大学 学生地域研究サークル
五友の会 代表 宮田 潤

柳井町で暮らす住民の意識調査アンケート

1、 アンケートの目的

平成 22 年 1 月 13 日、柳井町商店街にて、民主党ながえ孝子氏と学生による意見交換会が行われることになりました。この機会は、柳井町で生活する地域住民の想いを伝えるチャンスでもあり、国の政策や方針、今の生活の中で感じていることなど「生の声」を把握することを目的にアンケートを実施しました。

2、 アンケートの概要

アンケート実施日 : 平成 21 年 12 月 25 日～平成 22 年 1 月 9 日
アンケートの対象 : 柳井町 1 丁目の商店街で商いをする人
また、一丁目で暮らす地域住民
サンプル数 : 49 名 (男 22・女 27)

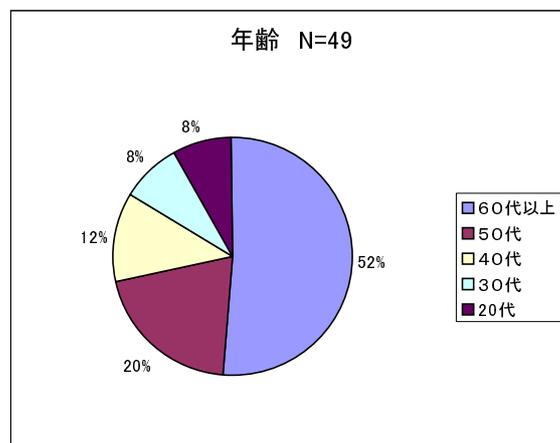
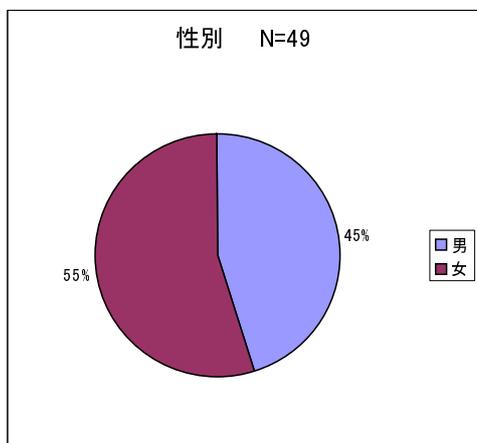
3、 アンケートの集計結果

Q1 性別

男 45%
女 55%

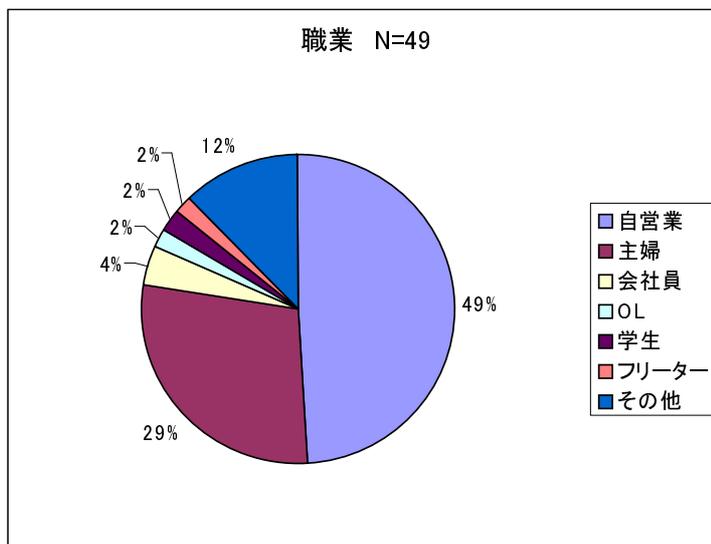
Q2 年齢

60代以上 52%
50代 20%
40代 12%
30代 8%
20代 8%



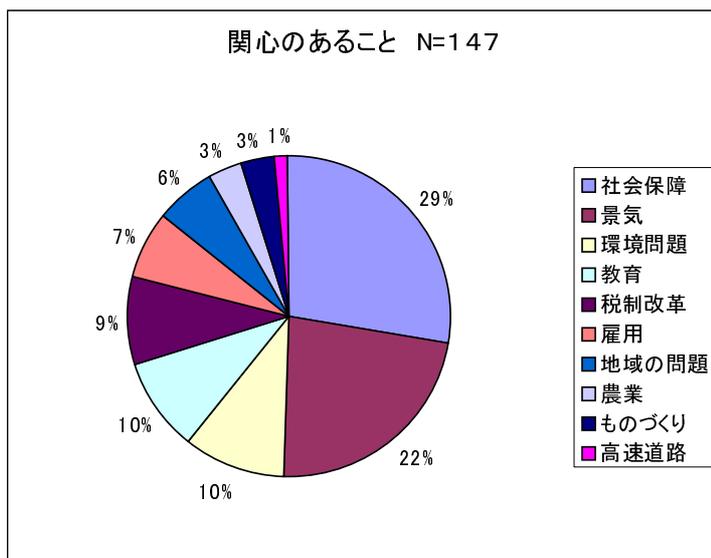
Q3 職業

自営業	49%
主婦	29%
社会人	4%
OL	2%
学生	2%
フリーター	2%
その他	12%



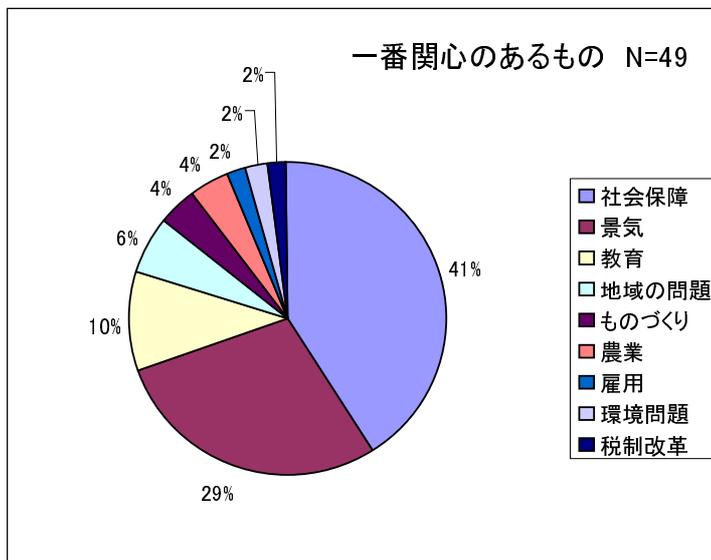
Q4 関心のあるもの

社会問題	29%
景気	22%
環境問題	10%
教育	10%
税制改革	9%
雇用	7%
地域の問題	6%
農業	3%
ものづくり	3%
高速道路	1%



Q5 もっとも関心のあるものと、それについての一言

社会保障	41%
景気	29%
教育	10%
地域の問題	6%
ものづくり	4%
農業	4%
雇用	2%
環境問題	2%
税制改革	2%



「社会保障」

(提案)

- ・消費税を上げて確実な財源を確保した上で、介護・医療・教育等に支援していき国民の負担を減らしてほしいと思います。
- ・21歳の子供がいますが、国民年金をかけても将来受け取れることができるか不安です。卒業後、就職してから支払ったので良いではないかと考えています。無事に就職できればの話ではありますが・・・。
- ・国債の額が巨大になっているが、日本は大丈夫でしょうか？自分たちの負債を子供たちに押し付けているように思っています。高校生の授業料が無料になるのも疑問です。高校の義務教育化ということ？それより奨学金を充実すべきでは。
- ・一般年金生活者より生活保護者のほうが金が多いのは、年金をかけてきた人にとっては不公平ではないでしょうか。保護を受けずに一生懸命頑張っている人がいて、それに比べ保護を受けてのんびりしている人を見ると、議員さんの方の目線はどこに向いているのかと思います。政権が代わり、今こそこの問題を見直し考えてほしいと思う。
- ・仕事をしながらの介護は大変なので、入所できる施設等を充実してほしい！老老介護の人にも手助けを
- ・妊、産婦に対してもっと優しくなれば、出産する人が増えるのではないのでしょうか・・・。健診の診療代の補助制度をもっと続けるなど。

・社会保障を企業からの拠出金に依存する体質は良くない。現在医療保険にしても企業年金にしてもできるだけ企業負担に頼ろうとしている。景気が悪化して企業の業績が悪化すると、たちまち社会保障にしわ寄せが来る。前政権の打ち出した年間 2200 億の社会保障費削減がそのいい例と思う。景気と社会保費を切り離すためには、消費税のアップもやむをえない選択だと思う。

・介護員が少ない問題・・介護職員個人に直接国からの支援をしてほしい。事業主に支援しても職員個人の給料は良くなりませんと聞いています。

消費税を上げて確実な財源を確保した上で、介護・医療・教育等に支援していき国民の負担を減らしてほしいと思います。

(声)

・将来の年金制度が保障されているか不安です。

・年金が少なく、老後が心配です。

・国民年金、満額で 6.6 万。これを 10 万ぐらいにあげてほしい。

・一人暮らしや老々介護が多くどこまで持ちこたえることができるか心配。

・誰もが安心して老後を迎えられるような社会保障制度の確立を望みます。

・老夫婦二人暮らしなので、これからの生活（特に体力的に衰えたとき）を考えると不安、老人施設も絶対的に不足していると聞くので・・・。

・今の保障で将来が不安

・今まで掛け金を払ってきたのだから、年金はある程度の額をいただけるようにしてもらいたい。出ないと若い人たちは年金の掛け金を払う気にならないだろうし、年金制度は壊れてしまうのではありませんか？

「景気」

- ・現在の深刻な日本経済の景気を回復させるためには、個人の家計に各種の手当を支給するのではなく、産業界を立ち直らせる対策が必要である。そのために、大型公共工事を継続して実施すれば、セメント、鉄鋼、電気、機械等、多くの業界を刺激し、さらに雇用の増大、勤労所得の増加にもつながり、その結果消費の増大も促すこととなる。
- ・みんながもっと消費がしやすいような政策をしてほしい。
- ・持続する経済成長がすべての大前提である。経済活動が活発になるような政策を「素早く」お願いします
- ・専門店の生き残り問題
- ・景気が良くなるのを待ち望んでいます。
- ・苦しい。景気が良くなるようにしてほしい。
- ・現在の雇用財政の悪化は大きな社会不安となっている。政策としては、最優先に対応すべきであり、対策が遅れるとあらゆる分野に影響を与え、やがて社会システムの崩壊につながって行く恐れがある。環境問題も大事だが、年間3万人もの自殺者を出している背景に景気の悪化がある。また、アジア圏はすでに景気回復に向かっている中で日本だけが不景気を脱出できない現状は政治の責任だといえる。

「教育」

- ・私は子供がいますが、気になっているのは、教育問題です。この度民主党の圧力により、「竹島」が日本の領土という明記を学校の教科書から外したという点に大変怒りを感じています。民主党は日本という国を軽視しすぎではないでしょうか。アジア外交を軽視し、国内の問題に目を向けていなすぎです。このような学校教育にまで、政治的な、外交的な問題を持ち込んでくるような政党は異常だと思いますし、自分たちの子供がそのような状況で今後教育を受けていくと思うと心配です。ぜひとも教育と政治をちゃんと分けて考えてほしいです。
- ・すべてにおいて人の心が重要だと思う。そのための教育（道徳）を数年・数十年という長いスパンで計画していくことが将来のためになると思う。
- ・指導者の育成・保育園などの施設整備・スポーツ施設の充実

「地域の問題」

- ・この柳井町は近くの銀天街はショッピングなどで土日は賑わっているのに、中の川とおりという大きな道を挟んだだけで、人通りがぐっと減ってしまいます。近所の方は、みな面白くて温かい人たちばかりです。もっとこの街を多くの人に知ってもらい、来ていただけるために、今後何に力を入れていったらよいのでしょうか。
- ・地域を元気にすることは、経済を活性化することでもある。愛媛そして松山が注目を集めるための効率的な対策、先駆的な政策を模索しなければいけないとひしひしと感じる。人的資源のレベルが10年・15年前と比べると落ちてきていると感じる。対策を講じなければならぬ。

「ものづくり」

- ・第一次産業、地産商品、古古米対策のための商品開発についての制度の見直し

「農業」

- ・食料自給率を上げて、安全で栄養価の高いものが消費者に手に入る環境が当たり前になれば良いと思っています。
- ・家庭菜園に農地を購入できるようにしてほしい。農地法で小さな農地は購入できない。(自給自足！)

「雇用」

- ・雇用が一番大切だと思います。一人ひとりの収入が増えると、私たちの自営の収入も増えると思います。まずは収入源が大切です。

「環境」

- ・今のままで行けば、人だけが栄え、ほかの生物は遅かれ早かれ絶滅してしまう。温暖化や開発の影響はどうにもならない。トキやコウノトリ野生復帰しても何の意味もないと思う。

「財政改革」

- ・政権が変わり税金の面で基礎控除が変わり個人業者はとても大変です。子育てを育てている人は優遇され、私たち子育ても終わり、あと何年で年金生活を向かえるものにとって厳しい世の中になりつつあります。税金の使い方、よくよく考えてほしいと思っています。

4、 考察

柳井町（商店街）で生活する住民は、年齢層が高く大半が高齢者です。そのために社会保障にいついて不安を抱える人が一番多いという結果になりました。しかし、高齢者の一人暮らしや、老々介護の問題は、いまや日本全国共通の問題でもあります。

働き手が減りつつある現状で、社会保障費の負担を次世代だけで埋め合わせることは困難な状況です。社会保障の充実と平行して、やりがいを感じながら生涯充実して働ける雇用を高齢者の間でどう作り出すか、が柳井町を軸に日本の将来を考える焦点になると思います。

5、 アンケート実施にあたって（感想）

地域でアンケートを取ることがいかに難しいかということが、身にしみて感じました。外の方が、いきなり地域には入って行って「アンケートのご協力よろしくお願いします」といったところで、協力してもらうのは難しいし、相手が本当の想いを伝えてくれるとも限りません。地域に根付いて信頼関係を築く、それがとても大切だと分かりました。

首相が地域の信頼関係を築きながら国の政策を打ち出していくことは困難であり、「こんなに良い政策を打ち出しました、ご協力お願いします。」といったところで、押し付けの政策には限界があると思います。地域に近い、ながえさんのような議員が、どれだけ地域の人と一緒に信頼関係を築けるか、が地域から変わる日本の第一歩であり、柳井町の意見交換会がひとつのきっかけになってくれたらうれしいです。



当日の様子

アンケート用紙

実施団体：松山大学「五友の会」

記入日 年 月 日

1、 あなたについて

Q1 性別（ 男・ 女 ）

Q2 年齢

(~10代 20代 30代 40代 50代 60代~)

Q3 職業

(学生・OL・会社員・自営業・主婦

フリーター その他《 》)

2、 いまあなたが最も関心のあるものを①~⑩の番号の中から上位三つ選んでください。

例 (2) (7) (8)

.....(.....)(.....)(.....).....

①税制改革 ②社会保障（年金・介護・医療） ③教育 ④高速道路 ⑤環境問題 ⑥雇用 ⑦農業 ⑧ものづくり ⑨地域の問題 ⑩景気

3、 2番で選んだ三つの内、一番関心あるものを1つだけ選んで、取り組んで欲しいことを簡単に記入して下さい。

一番関心のあるもの(.....).....

アンケートのご協力ありがとうございました。